

令和2年度第5回地方独立行政法人加古川市民病院機構評価委員会 議事要旨

日時 令和2年10月13日(火) 16時00分から16時45分

場所 加古川市民会館 大会議室

出席者(委員) 森脇委員長  
加堂副委員長  
中田委員  
石井委員  
溝端委員

報道関係者 1名

傍聴者 1名

会議次第 1. 開会  
2. 議題  
(1) 第3期中期目標(案)について  
(2) その他  
3. 閉会  
4. 事務連絡

1. 開会	<p>開会の宣言</p> <p>森脇委員長よりあいさつ</p> <p>機構は、第2期中期目標期間は非常に良い結果を残されている。第3期、第4期も努力され、新型コロナによる院内感染などに注意し、病院経営をしていただきたい。</p> <p>本日は、パブリックコメントの結果を反映させた第3期中期目標（案）について、審議し、評価委員会としての意見をまとめていきたい。本日も、委員の皆様から忌憚のないご意見をお願いしたい。</p>
2. 議題	<p>(1) 第3期中期目標（案）について</p> <p>事務局から「パブリックコメントの実施結果及び市の考え方」について説明を行い、パブリックコメントの結果により修正した第3期中期目標（案）について説明を行った。その後、評価委員会で審議し、第3期中期目標（案）について、「目標（案）のとおり定めることが適当である」と決定した。また、市長への答申書については委員長に一任することを確認した。</p> <p>（主な意見）</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・コロナのピークをどのように乗り切るか。今後、目標や計画を変更していく必要が出てくると考える。</li> <li>・目標の全体的な流れは問題ない。</li> <li>・コロナで社会全体が変化している。その社会の変化に今後どう対応するかが課題である。</li> <li>・これまでは、形をつくり、今後は、方向性を選択する時期と考えている。</li> <li>・これまでは、市民に大きく評価されていると思う。今後は、コロナを受け、今までの形を変えて経営していく場面が出てくると考えられる。社会、医療の変化にしっかり対応してほしい。</li> </ul> <p>（法人意見）</p> <p>計画策定にあたっては、人材育成、高度医療（医療の質の向上）、経営の安定は外せない。</p> <p>目標にある6つの視点のうち、視点2と視点5は目の前の課題である。コロナにより、患者の需要（行動）が変化しており、計画を策定するのは非常に難しい。遠隔診療など、未来予想を描きながら方向性をつかむ必要もあることから、今後も情報収集はかさず行っていく。</p> <p>(2) その他</p> <p>意見なし。</p>
3. 閉会	<p>閉会の宣言</p> <p>&lt;加堂副委員長あいさつ&gt;</p> <p>今後は、非常に不安定な時代に差し掛かるが、地域の中核病院として市民病院は現状維持することが最低限と考えている。</p> <p>市が策定する第3期中期目標を受け、機構がどのような具体的な計画を策定されるのか、非常に楽しみにしている。</p>